



↑川添町長からお祝い状が贈られ、笑顔で喜ぶ坂口さん

★ 自 坂口さん 100歳の誕生日 分似 ひ孫の成長楽しみ

6月10日、浦底の坂口喜次郎さんが100歳の誕生日を迎えられ、町からお祝いが届けられました。

同日は、坂口さんが入院されている高野医院にお子さんやお孫さんらが集まり、花束や誕生ケーキなどで祝福を受けていました。町を代表して川添町長も駆けつけ、坂口さんに「なお一層のご長寿をお祈りします」とお祝い状と記念品を手渡しました。

坂口さんは、青年団の会計を任された昭和7年から2年前までの75年間、豆腐の値段などを細かく記載した家計簿をつけてこられました。その几帳面さから、公民館長などさまざまな役員を歴任されました。

スポーツも万能だったという坂口さんは「こんなに祝ってもらえてうれしい。ひ孫が自分によく似ていて、成長が楽しみ」と笑顔を見せていました。

↓波打ち際の岩場に、マフノリの胞子をまく漁業者ら



★ マ マフノリで磯枯れ現象を打開 試験栽培に着手

近年の本町西岸地区の磯枯れ現象をくい止めようと6月12日、町や北さつま漁協は唐隈の海岸でマフノリの種付けに着手しました。

この日は、漁協関係者や地元住民らが、前日にフジツボを削り取った岩場に、マフノリの胞子約75㍑を散布しました。この試験で成果が確認できれば、規模を拡大していく予定です。

マフノリは刺身のつまや海藻サラダ、酢のもの、味噌汁、天ぷらなど、用途の多い食材として重宝されています。

★ 洗 県民体育大会出水地区予選 心館で本大会出場に挑んだ

本年9月に伊佐地区で開催される県民体育大会の出水地区予選が各地で開かれています。唯一、本町が会場となる剣道は6月28日、多目的ホール洗心館で予選会がありました。

剣道の長島チームは、初戦で出水チームを破りましたが、次の阿久根チームとの接戦を惜しくも落とし、2位となりました。剣道は優勝チームを主体として、地区内から選手を選抜しての本大会出場となります。

このほか本町からは6月末現在で、男子バレーが団体で出場を決めており、バドミントンやソフトテニス、女子バレー、水泳などに個人が選抜されています。



↑洗心館で熱戦が繰り広げられた剣道